

市長定例会見

2025年7月10日

今日お伝えしたいこと

1. 旧湊川沿いの街路樹について
2. こどもの居場所づくりの充実へ
～ 新たなプログラムでもっと魅力的に ～

旧湊川沿いの街路樹について

倒木の恐れがある 3本の伐採を予定

エノキ | 幹の腐朽 など



ムクノキ | 大部分が枯死 など



ムクノキ | 幹の腐朽、地際の空洞 など

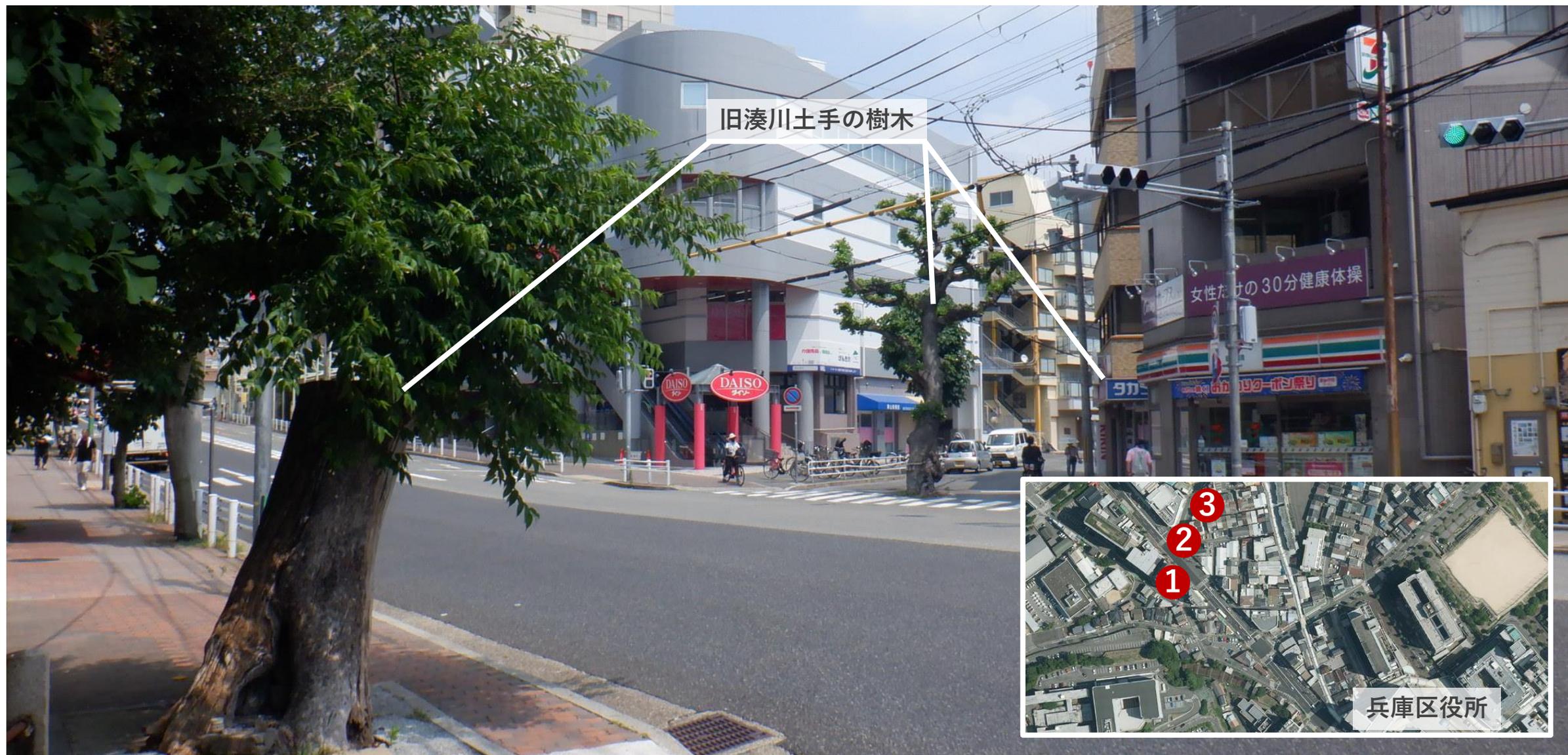


付替えられた旧湊川

明治中期の旧湊川



旧湊川の名残を示す街路樹



こどもの居場所づくりの充実へ
～ 新たなプログラムでもっと魅力的に ～

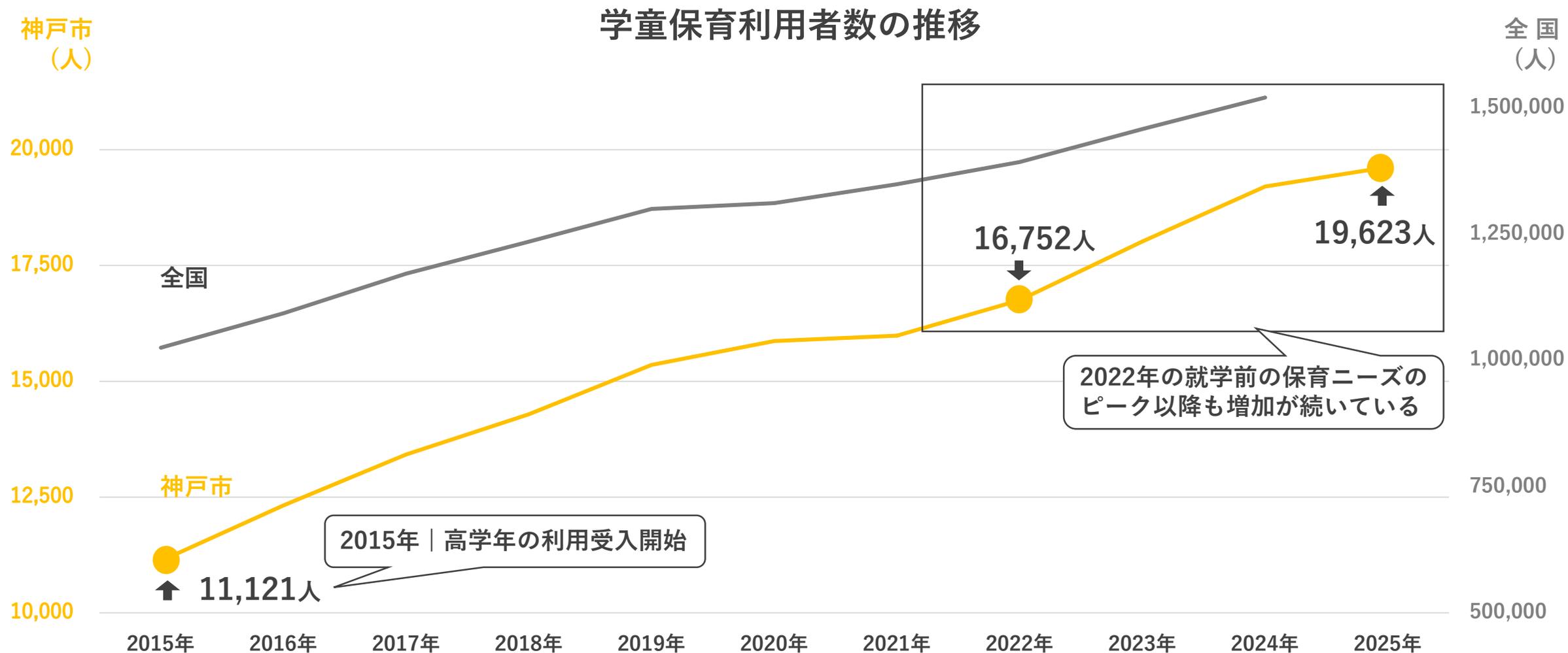
神戸市の学童保育

6年生まで待機なし！

○ 保護者が働いている間、安心して過ごせる居場所（児童館等 | 253施設）



学童保育ニーズの高まり



ニーズが高まる中でも学童保育が必要なこどもはすべて受け入れ

学童保育サービスの充実

[これまでの取り組み]

(2018年～)

早朝 (8時) 受入開始

(2020年～)

**ICT (来退所管理システム) の導入
学童保育中の学習支援**

(2021年～)

施設までの送迎支援

保護者・こどものニーズ

夏休みの間だけ
子どもを預かってほしい

夏休み期間中
お弁当をつくるのが大変

忙しくて普段できない
体験をさせてあげられない

もっと
外で遊びたい



利用者のニーズをふまえ、さらに魅力的なこどもの居場所へ

夏休み期間のみの学童保育受入れ施設を拡大

概要

- これまでの学童保育は通年で受入れ
- ▼
- 過密でない施設や学校施設を活用し、**夏休み期間のみの**申込を開始
(2024年度～)

夏休み期間のみの受入施設

20 施設
<2024年度>



54 施設
<2025年度>

全区で対応!

学校の体育館を利用



学校の図書室を利用



学童保育における昼食提供施設の拡大

概要

- 施設毎に昼食提供の事業者と連携
(注文システム導入済み)
- 夏休み期間中、希望に応じて
昼食を注文できるサービスを提供

実施施設

40 施設
<2024年度>

100施設増!

140 施設 (7/10時点)
<2025年度>

[保護者・施設ともに負担を軽減]

注文システムで
手軽に注文



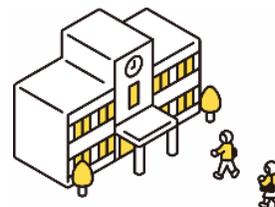
保護者

直接注文・支払



事業者

注文や支払の
とりまとめ不要



学童保育施設

昼食の配達



連携

さまざまな放課後での“体験”を提供

こどもっとひろば周辺の
「公園・近隣の山等での外遊び(プレイパーク)」



こどもっとひろば等での「畑・菜園体験」



こどもっとひろばでの「クッキング体験」



小学校図書館での「本のひろば」



小学校運動場での
「放課後運動遊び」



校庭を活用した「外遊び事業」



兵庫区の「こどもプロジェクト」



“スポーツ”体験 NEW

概要

学童保育の時間に
無料で体験！

- ・ 4 施設で**モデル事業**を開始
(本庄・原田・太山寺・白川台児童館で実施)
- ・ プロスポーツチーム等による
スポーツ体験・指導を実施 (月2回程度)
- ・ 2025年8月～ ※夏休み以降も実施

指導団体・チーム

17団体

地域人材や大学生も協力

INAC神戸レオネッサ、神戸ストークス、アルコ神戸
ヴィッセル神戸、コベルコ神戸スティーラーズ 等



活動イメージ

概要

だれでも無料で体験！

- 20施設で**モデル事業**を開始
(全区の児童館 (こどもっとひろば)で実施)
→ 英語が母国語等の外国人人材を派遣
- 英語の言葉、歌、ゲーム、外国文化に
ふれる遊びプログラムを実施 (月1回程度)
- 2025年8月～ ※夏休み以降も実施



活動イメージ

A group of children and an adult are playing water guns on a sandy field. The children are wearing various hats and clothing, and are holding water guns of different colors. The adult is wearing a dark blue shirt and a cap, and is laughing with his hands near his face. In the background, there is a large building with many windows and a laundry rack with clothes hanging on it.

夏休みに新たなプログラムを開始し
充実した体験ができるこどもの居場所づくりを進めます